

VPDCA
Promoting

iPromotist

Une brise

VPDCAについて

ここでは、**ビジョンドリブンPDCA**を**VPDCA**と呼んでいます。ビジョン = 望む姿から捉え直して、ビジョンの視点からPDCAを再認識しようとする考え方です。

「失われた10年」という言葉が、なお言われ続ける現在、1960年代に伝わった**PDCAサイクル**手法は既に古いとみる向きもあるようです。しかしながら、「段取り八分」ということわざが今なお生きた言葉として使われるように、段取りを組む重要性、効率を尊ぶ考え方が忘れられることはありません。古くなったのは、かつてPDCAによって現実化しようとしていた目的であり、ビジョンそのもの、あるいは、計画通りにいかぬからダメや、結果集計に無駄な労力をかけられないなどの先入観、固定概念が古くなったのではないのでしょうか？ ウェブマーケティングなどで言われるデータドリブン、計画通りにいかぬ方法を発見できることを喜び、カイゼンという行動力を尊ぶというように、PDCAの中身は変容しています。

ビジョンに立ち返り、新しいP、新鮮なD、データドリブンのC、そして、ワクワクするAというように、PDCA各ステップを更新する、**ビジョンドリブンPDCA**を試してみてください。

飛葉雄一

ユヌ・ブリーズ

2023年5月4日

V

VISION

ありたい姿、望む姿（ビジョン）

もっと身近な言葉に言い換えて捉え直します。



P

PLAN

道筋（計画）

ビジョンドリブンと同時に、データドリブンであるように。



D

DO

態度、姿勢、行い（行動）

姿勢を正せば、態度や行いが変わります。



C

CHECK

点検、振り返り、照会（チェック）

失敗でなく、うまくいかない方法を見つけます。



A

ACCELERATION

修正、工夫、励まし（改善）

人を励まし、ビジョンを目指す風をおこします。



VISION



望む姿

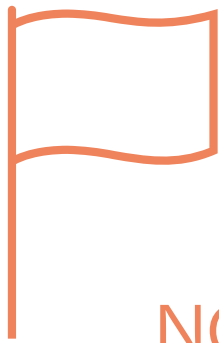
どうありたいか、どうなりたいかを想像して、感じ取ります。
その様子、人との関係、周りの環境などを思い描きます。
言葉、数値、絵などで表現します。

今の姿

同じように、今の姿を観て、感じるままを記し、表現します。
望む姿と今の姿を見比べてみましょう。

ギャップ

VISION

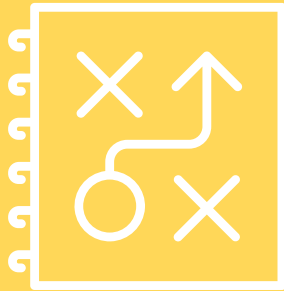


NOW

望む姿と今の姿を比べると、自然に、隔たり（段差、ギャップ）が見えてきます。

そのギャップは、どのようにしたら、埋められるでしょうか？

能力・環境・関係などの視点から必要と思われることを、言葉、数値、絵などで記し、描きます。それがそのまま、道筋になります。



道筋

道筋は、ビジョンと今の姿のギャップを埋める方法やしぐみのことを言います。

自然に見えてきたギャップを埋める道筋を、言葉、数値、絵などで描きます。

計画を作ることなのですが、計画というと、まっすぐの直線を感じます。道といえば、右に左に、あるいは、アップダウンもあることがイメージできます。道筋（計画）を、何を、どのようにと、具体的に描けば描くほど、行いがしやすくなり、態度や姿勢を変える機会が増えます。

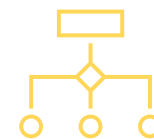
計画を描くときのよすがとなるが、SMARTです。

S

SPECIFIC

具体的

やるべきことがハッキリと具体的になっていますか。

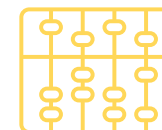


M

MEASURABLE

定量的に計測可能

やること、やったことを数値で表現できますか。



A

ATTAINABLE

達成可能

努力すれば達成できるものですか。

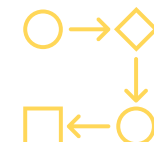


R

REALISTIC

現実的

現実的な内容ですか。



T

TIMELY

期限・タイミング

いつまで、どのタイミングで、が明らかですか。



Do



行い

本を読むだけでは泳げるようにはならない、とよく言われます。泳げるようになるには、実際に、水の中に飛び込んで、頭だけでなく、体で感じて習う必要があります。

「その道に苦勞する人が玄人、
その道を知ろうとする人が素人」

(英文学者、小田島雄志)

という言葉があります。

「苦勞する」とは、「取り組む」ということです。納得がいくまで、やろうと決めたことをしつこく続けることです。して考えて、考えてしての繰り返しです。

「取り組む」という言葉の持つ語感のように、姿勢、態度も、つまり、心を入れて行いましょう。

行うことは、情報の交換と関係作りを意味します。人、物事などとの間で、情報を与え、与えられ、そこに関係が生まれます。せっかくの情報です。記録に努めます。

取り組むということ

計画を行うことで、他の人や物事などに出会うきっかけが生まれます。

出会いは、情報交換の場であり、機会となります。

情報交換によって、関係が生まれることがあります。また、まだ、関係と言えるものが発生しないこともあります。

関係がない、思う道筋ではないという場合でも、セレンディピティによって、思ってもみなかった形でビジョンに達することがあります。

行いを記録し、見える、読める、感じる形で情報を蓄積します。



CHECK



振り返り

チェックを、良いか悪いかを評価することと捉えず、計画と行いを振り返り、照合、突き合わせることを言うと捉えたらいかがでしょうか。

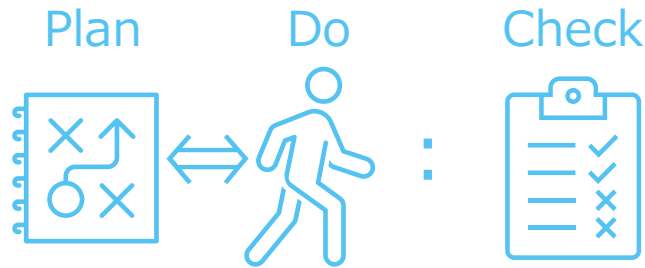
SMARTのM（測定可能で定量的）とT（期限）で示される計画は、行いが記録されることで、身近にあるExcelを使って、ほぼ自動的に、かつ、すぐに突き合わせるすることができます。（Power Queryなどでデータベース化）

定性的な計画については、写真や画像などで描いてみたり、音声入力支援機能で、手早く言葉を記録する方法などを利用して、振り返りの時間や労力を減らすことができます。

計画の通りではない結果から、原因、理由を推測し、より期待通りにいく形に工夫してしていきます。

照合

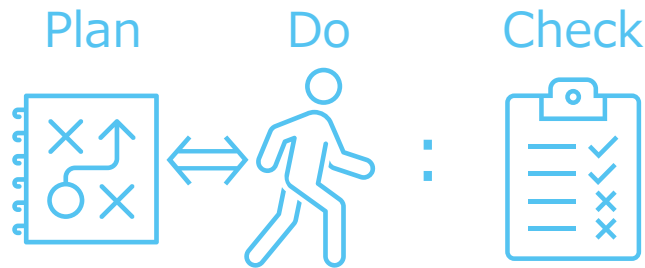
QUANTITATIVE CHECK



チェックとは照合です。

定量的照合には、デジタルツールが打ってつけです。
身近にあるExcelを活用するのが最適でしょう。

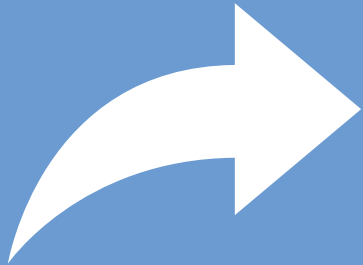
QUALITATIVE CHECK



定性的照合にも、数値では表せない、言葉、写真や画像などを、デジタルで記録し、いつでも、どこでも参照できるようにすることで、照合そのものも、より易しく、より早くできるようになります。

照合とは、食い違い、差異を探しだし、原因、背景などを追求することを言います。良い悪いの評価をすることではないことに留意しましょう。

ACCELERATION



励まし

PDCAのAは、本来、Act、Actionと言われ、修正、改善などの意味合いとして捉えられています。

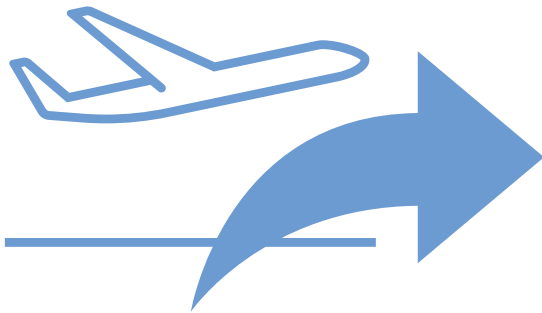
しかしながら、修正や改善は、P、D、C各ステップごとでも行われるべきことですし、Cのステップで、それまでのVPDも省みることに、次なるDの発端が含まれます。ここでは、ACCELERATIONと別の言葉をあてて捉え、加速、促進、そのための励ましと考えることをご提案します。

VPDCAは、ビジョン（V）からPDCA、つまり、日ごろの考えや行動を捉え直そうとする考え方です。拡散思考と収束思考の間を絶えず往復し、視野をより広くするよう人や環境、他の物事との関係を意識し、考え、行い、それを繰り返すという、むしろ、生き方に近い、知行合一の考え方です。

工夫で加速する

飛行機は、離陸する時にもっとも燃料を消費するそうです。自動車も、止まった状態から動き始める時にガソリンを多く消費します。アクセルをふかしてやる必要があります。

ACCELERATION



工夫して加速しましょう。

工夫とは、仏教用語で、自発的に発奮して、坐禅に励むことを言います。ネガティブな思いで頭が一杯になりそうな時、反対の希望、希い（こいねがい）望むもので頭を満たして加速させます。希望、それはとりもなおさず、ビジョンそのものになるはずです。

また、一般的に言われる工夫の意味で、できることを工夫することも意味します。ギャップを埋めるために必要だと思われる環境や能力、それらを、今できること、今既に持っているものなどを応用できないかと考えてみるのです。あるいは、できることのレベルを、もう少し高めることで、目下の課題に対応できるかを問うてみることもできます。

古人の言葉

Henry Ford

Whether you believe you can do a thing or not, you are right.

福沢諭吉

考えが変われば、行動が変わる
行動が変われば、習慣が変わる
習慣が変われば、人格が変わる
人格が変われば、運命が変わる

William James

Sow a thought, reap an action.
Sow an action, reap a habit.
Sow a habit, reap a character.
Sow a character, reap a destiny.

鈴木貫太郎

正直に肚を立てずに撓まず励め

一夜賢者経

過ぎ去れるを追うことなかれ。
いまだ来たらざるを念うことなかれ。
過去、そはすでに捨てられたり。
未来、そはいまだ到らざるなり。
されば、ただ現在するところのものを、そのところ
においてよく観察すべし。
揺らぐことなく、動ずることなく、そを見きわめ、
そを實踐すべし。
ただ今日まさに作すべきことを熱心になせ。

アイプロモティスト

- 事業所名 ユニブリーズ
- 部門 iプロモティング
- 担当 飛葉雄一
- 業務
 - VPDCAプロモティング
 - Excel活用プロモティング
 - Word、Powerpoint、Wordpressなど、デジタルツール活用プロモティング
 - Excelデータベース、Powerpointスライド作成、Wordpressウェブ制作
 - 変動損益計算経営、多通貨簿記データベース運用支援
- 連絡先 info@ipromotist.com (e-mail)
<https://ipromotist.com/inquiry/> (ウェブメールフォーム)
- URL <https://ipromotist.com/>